

矢 部 太 郎 バ リ ト ン リ サ イ タ ル

フランツ・シューベルト三大歌曲集 連続演奏会 第一章

# 美しき水車小屋の娘

Die Schubert Trilogie - Die schöne Müllerin

よろこびも、かなしみも  
この小川に流そう



矢部太郎 / バリトン



赤間亜紀子 / ピアノ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。スイス・バーゼル音楽院演奏家専門クラス修了、同時に声楽と室内楽のディプロム並びに国家演奏家資格を取得。

声楽を松村健太郎、鈴木寛一、伊藤亘行、クルト・ヴィトマーの各氏に師事。藝大在学中はパッサカントークラブに所属し、小林道夫氏の指導を受ける。リート解釈と発声法をクルト・ヴィトマー氏、ドイツ朗発音法をベトラ・ラドレスク氏、現代曲解釈をユルグ・ヘンネベルガー氏に師事。

バーゼル音楽院在学中よりヨーロッパ各地においてコンサート、リサイタルに出演。オペラの分野においては、バーゼルオペラスタジオにて、演出家トーマス・ヘルトナー氏から演劇法とドイツ舞台朗発音法を、演出家マーティン・マークン氏、ライナー・アルトルファー氏からオペラの指導を受ける。両氏の推薦によりスイス・ロカルノにおいてテマローザ作曲『秘密の結婚』のロビンソン伯爵を演じてオペラデビュー、好評を博した。

2008年より日本国内でリサイタル活動を開始。ゲーテの詩によるシューベルトの歌曲、シューベルト『冬の旅』全曲演奏会、マラー『少年の魔法の角笛』、オトマール・シェックの世界～スイスの詩人による歌曲～、弦楽四重奏とバリトンによる歌曲～オトマール・シェックとサミュエル・バーバー～、などを演奏し、ドイツリートの魅力伝える音楽活動に取り組んでいる。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。

ピアノを真織豊子、荻野千恵、高良芳枝、田邊緑、ヘルベルト・ザイデルの各氏に、室内楽をライナー・ホフマン氏、フィンガートレーニングを御木本澄子氏に師事。

近年の活動として、2015年より上尾市教育委員会の企画による「五年間で市内全ての小学校でアウトリーチコンサートを行う」プロジェクトに加わり、これを遂行。同時に同委員会主催の「あげおクラシックコンサート」に毎回出演し、更にそのメンバーで立ち上げた AGBO QUINTET の一員としてコンサート活動を広げている。2019年2月、読売日本交響楽団首席フルート奏者フリスト・ドブリノグ氏主催によるリサイタルにて、熱海公演・東京公演の2公演を共演。

2018年より毎年開催されている、上尾新音楽の会主催ガラコンサートに於いてピアニストを務め、オーケストラの響きを2台のピアノで表現する舞台は、好評を得ている。

埼玉新演奏家連盟理事、ミュージカルを合唱で歌う混声合唱団「ラ・フォンターナ」ピアニスト、県立大宮光陵高校講師。

2024年2月12日(月・祝)

開場 13:30 / 開演 14:00

響の森 桶川市民ホール

全席自由：¥3,000-

ペア券(前売りのみ)：¥5,000-

チケット購入・お問い合わせ

電話：048-728-6382(矢部)

ホームページ：<http://yabetaro.blogspot.com/>

